

横須賀市長 吉田雄人 様

## 要 請 書

2017年2月23日

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

共同代表 呉東 正彦

同 新倉 裕史

同 小林麻利子

同 今野 宏

同 三影 憲一

### 米海軍巡洋艦アンティータムの油流出事故について

1月31日に起きた米海軍巡洋艦アンティータムによる横須賀沖での油流出事故について、その原因と再発事故防止策について市民へ報知してください。

#### 1、事故について 事故原因、場所、流出した油

- ・どのような訓練が行われ、なぜ事故が起こったのか
- ・事故発生時間や場所は
- ・流出した油の質と量は（環境への影響がないとは）
- ・日本側の措置及び対応は

#### 2、事故報告について 米軍からの通報時期と内容

- ・市への第一報の時間と内容は
- ・一報後の報告内容は
- ・2013年情報公開の合意に沿っては

#### 3、市の対応について 米軍事故への対応と今後の安全対策

- ・市長の米軍に対する姿勢は
- ・今後の事故防止策と通報体制は

以上

今回の事故は、米海軍への不信と原子力艦事故の不安へと広がります。

市民の安全と安心を保障するためにも、米海軍へ強硬な態度で事故防止と迅速な情報公開求めてください。

1月31日に発生した巡洋艦アンティータムの座礁事故につき、以下のとおり要請いたします。

1、1月31日と2月1日の南関東防衛局からの通報について、いつ通報があったのですか。

米海軍からは通報や、1月31日の申し入れについての回答はなかったのですか。

2、この正確な情報の通報の遅れは、

1997年の日米合同委員会の事件事故の通報手続きの『できる限り速やかに』

2013年の油漏れ事案対応マニュアルの『発生日時・場所・経緯・流出量の確認』に違反していませんか。

3、座礁事故を起こした原因は、未だ不明のままですか。再発防止策は何ですか。

市はこれに対する再度の文書による申し入れや、環境調査はしないのですか。

4、星条旗新聞によると、弾薬積み込み、積み下ろしを行う港外錨地で、強風に流されて座礁し、スクリューを損傷したとのこと。弾薬補給作業中だったのでしょうか。

弾薬補給の港外錨地で、座礁事故が起こることは、極めて危険なので、いかなる再発防止策をとるのかを、国及び米軍に文書で聞いて下さい。

5、1999年の原子力空母ステニスの浅瀬接触による原子炉停止事故に見られるように原子力空母にとって、同様の浅瀬接触は極めて危険な原子炉事故に繋がる事態です。

強風や、地震、津波等によって、同様の事故が起こらないよう、このような浅瀬接触の危険性のある横須賀基地周辺の水域を徹底的に調査して、再発防止策を国及び米軍に文書で聞いて下さい。